

十日町市立十日町中学校

## 丘辺に建てる学び舎

学校ホームページ 二次元コード→



令和8年

2月27日号

Tel

757-2306

### 一歩一歩積み重ねて…

校長 山本平生

あの大雪が幻だったかと思うほど、青空が広がる日が増えてきました。2月とはいえ、ここ数日は春を感じさせる気候です。

1年生は、今年も十日町雪まつりへの参加ということで、分じろう裏の広場に2体の雪像を作りました。市民の皆様目に留まる場所で雪像づくりに参加でき、とてもよい活動になりました。

2年生は、2月15日～17日にかけて二泊三日の修学旅行にに行ってきました。今年は、戦後80年ということもあり、広島まで足を延ばして平和学習も進めてきました。少し急ぎ足の旅行だったかもしれませんが、広島でも京都でも生徒は充実した活動を進め、楽しかった思い出とたくさんのお土産を抱えて帰ってきました。

そして、3年生はいよいよ県立高校の入試、卒業式とラストスパートの時期となり、引き締まった表情で学校生活を送っています。県立高校入試の後に卒業式を挙げるようになって2年目。高校入試へのチャレンジを終えて、晴れ晴れとした顔で凛とした卒業証書授与式を迎えられるように、準備を整えていきます。

「一歩一歩、着実に積み重ねていけば、予想以上の結果が得られるだろう。」

現在、NHKの大河ドラマで取り上げられている豊臣秀吉の言葉とされています。

冷え込む冬の朝、主君である織田信長の草履を懐に入れて温めておいたという秀吉の有名な逸話があります。小さな仕事（草履取り）を完璧にこなすことで大きな信頼を得ることにつながるものと解釈できます。

誰もが失敗した砦の建設を、あらかじめ川の上流で木材を加工して、下流に流しその場で組み立てるという周到な段取りで成功させたという墨俣の一夜城のエピソードからは、大きな成果を得るには、事前の細かな準備の積み重ねが大切であるという教訓が得られます。

「一歩一歩、着実に積み重ねていけば…」の言葉は、当時の秀吉から発せられたという明確な記録はありません。農民から天下人にまで上り詰めた秀吉の人生を後世の人々がわかりやすく要約したものと考えられています。

しかし、この言葉には現在に通じる、そして今、十日町中学校に通う私たちにも意味のある言葉として受け止めることができます。雪像づくり、修学旅行、そして入試、卒業式。どれをとっても事前の周到な準備が成果につながっています。これからも、周到な準備はきっと実を結ぶことでしょう。

大きな行事に限らず、生徒一人一人が、数々の取組について、その準備段階から丁寧に振り返り、成果を確かめ合う3月にしてほしいと願います。

もうすぐ令和7年度が終わります。一人一人の歩みの積み重ねが、やがて十日町中学校の大きな力になります。その歩みを確かめながら、次の春へ進んでいきましょう。

# 令和7年度 教育活動アンケート結果

7月と12月に実施した教育活動アンケートの結果を以下にまとめました。この結果を基に、3月の学校運営協議会でご意見をいただき、次年度の教育活動の更なる充実や改善につなげてまいります。なお、数値は肯定的回答（そう思う・大体そう思う）のパーセンテージを示しています。

## 【生徒アンケート】（数値は%）

### 【知：確かな学力】自ら学び、考えを深める生徒

	アンケート項目	年度末評価	中間評価
1	授業に進んで取り組むことができた。	95.8	94.7
2	家庭学習に進んで取り組むことができた。	66.9	73.1
3	学校の授業時間以外に、ふだん(月～金)週平均1日当たりどれくらいの時間勉強しますか？ A：1時間30分以上 B：1時間以上、1時間30分より少ない C：30分以上1時間未満 D：30分より少ない	A：6.9 B：30.3 C：39.3 D：23.4	A：4.7 B：26.2 C：40.9 D：28.2
4	授業では、一人で行う学習に積極的に取り組むことができた。	88.3	92.6
5	一人で取り組む学習を通して学びを深めることができた。	84.1	85.9
6	授業では、協議の学習に積極的に取り組むことができた。	89.6	92.6
7	協働の学習を通して学びを深めることができた。	93.1	94.7

### 【徳：豊かな心】自信をもって生き生きと生活する生徒

	アンケート項目	年度末評価	中間評価
1	将来の夢や目標をもっている。	89.0	88.6
2	自分には良いところがある。	72.9	74.5
3	人の役に立つと感じているところがある。	69.0	69.8
4	学校では楽しく過ごしている。	94.5	95.3
5	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。	99.3	97.8
6	道徳や人権に関する授業や活動を通して、人の大切さについて考えた。	97.9	100.0
7	学校・地域で、明るく挨拶をした。	91.0	92.0
8	ルールやきまりを守り、爽やかな生活を送ろうと心掛けた。	97.9	98.6
9	机やロッカー等の整理整頓を心掛けた。	86.2	79.2
10	相手の気持ちを考え、思いやりのある行動をした。	95.9	97.3
11	生活アンケートや教育相談で話したことに對して、先生方は親身になって対応してくれた。	96.6	96.7

### 【体：健やかな体】澁刺とした生徒

	アンケート項目	年度末評価	中間評価
1	心身ともに健康的な生活を心掛けている。	94.5	89.2
2	学校行事や生徒会活動・部活動において精一杯努力した。	95.9	93.3

## 【保護者アンケート】（数値は%）

### 【知：確かな学力】自ら学び、考えを深め、粘り強く追求する生徒

	アンケート項目	年度末評価	中間評価
1	家庭学習強調週間（定期テスト期間）に学習を促すような声掛けをした。	72.7	70.2
2	子どもは、授業の宿題や学年課題または学習塾で勉強するなど、学習に取り組む姿が見られる。	68.9	74.4

## 【徳：豊かな心】自信をもって生き生きと生活する生徒

	アンケート項目	年度末評価	中間評価
1	家庭内において、互いに挨拶するように呼び掛けた。	91.2	91.8
2	家庭内において、規則正しい生活をするように呼び掛けた。	90.4	88.3
3	家庭内において、身の回りの整理整頓をするように呼び掛けた。	88.0	87.2
4	家庭で子どもに家事などの役割がある。	59.2	57.4
5	学校にスクールカウンセラーや相談員といった相談窓口があることを知っている。	97.6	98.2
6	保護者が、子どものことについて先生と相談しやすい雰囲気である。	85.6	85.1
7	いじめ防止対策基本法の「いじめ」の定義（内容は省略）を知っている。	98.4	92.5
8	新潟県いじめ等の対策に関する条例の「いじめ類似行為」の定義（内容は省略）を知っている。	93.5	88.6

## 【体：健やかな体】洗刺とした生徒

	アンケート項目	年度末評価	中間評価
1	子どもが心身ともに健康的な生活を送ることができるように、保護者として声掛けや支援をした。	94.4	95.4
2	子どもは、心身ともに健康的な生活を送っていた。	83.1	84.3
3	子どもは、学校の諸活動(学習や部活動等)を通して、心身を鍛え、たくましくなった。	87.8	90.9

## 成果・課題・改善策について（職員学校評価ブロック部会より）

### ○【知：確かな学力】について

#### <成果>

- ・授業への意識を高めることができた。（項目 1、4～7）
- ・中間評価に比べ、年度末評価では家庭学習時間を延ばすことができた。（項目 3）

#### <課題と改善策>

- ・家庭学習に関わる数値が低かった。（項目 2、3）  
→定期的に自主学習の場の設定をしたり、基礎的な内容の定着に向けたプリントを各教科で準備したりして、生徒が自主学習に取り組む環境を整備する。

### ○【徳：豊かな心】について

#### <成果>

- ・居心地のよい学級づくりに努め、10項目中8項目で80%を超えることができた。
- ・昨年まで低かった「将来の夢・希望を持っている」の数値を高めることができた。（項目 1）

#### <課題と改善策>

- ・自己有用感に関する項目が低かった。（項目 2、3）  
→委員会活動やクラス内の係の仕事などの活動内容を見直し、活動の活性化を図る。一人一人の活躍の場を確保し、自己有用感を高めていく。
- ・「いじめはどんな理由があってもいけないと思う」が100%にならなかった。  
→道徳の時間やいじめ見逃しゼロスクール集会など様々な場面で、いじめの定義について触れたり、いじめについて考える機会を増やしたりして、正しい知識と考え方を啓発していく。

### ○【体 健やかな体】について

#### <成果>

- ・多くの生徒が健康的な生活を心掛けつつ、部活や学校行事に一生懸命取り組むことができた。
- ・多くの保護者の方から励ましや支援をしていただくことができた。

#### <課題と改善策>

- ・一部の生徒に生活の乱れや、人を傷つける可能性のある不適切な言葉の使用が見られた。  
→ゲームやスマートフォンの使用に伴う課題であるため、家庭と連携をとることはもちろん、生徒会とも連携して生徒自身への啓発を進めていく。
- ・部活動の地域展開に伴う、運動量の二極化が懸念される。  
→運動量確保に向けた取組の検討を今後進めていく。

## 2年修学旅行

15日(日)～17日(火)に2年生が広島・京都への修学旅行に行ってきました。

この三日間、平和について深く考えたり、仲間と共に嵐山などの観光を思いっきり楽しんだり、様々な歴史的な建造物を見学したりしたことで、最高の思い出ができたと思います。学校に到着した際、疲れた様子はありませんでしたが、それ以上に自分たちでやり遂げたことへの達成感と充実感が表情によく表れていました。

修学旅行で学んできたこと、高めてきた力を、今回だけで終わらせることなく、これから最高学年として様々な場面で発揮してほしいと思います。

## 1年雪像づくり

19日(木)、20日(金)の5・6時間目に1年生が、「分じろうひろば」で雪像づくりに取り組み、「十日町雪まつり」に出品しました。

雪像づくりに向けては、冬休みの課題で1年生全員がデザインを作成し、その中から各学級で1つに絞りました。当日は各学級で力を合わせて制作し、すてきな作品を完成させることができました。

今回、雪像づくりにあたっては、会場の確保や1日目の雪山の積み上げ作業で地域の方からサポートしていただきました。ありがとうございました。

これからも十中生で地域の活動を盛り上げていきたいと思っています。

## 同窓会入会式

26日(木)、同窓会長の蕪木様をお招きして、同窓会入会式を行いました。

蕪木様のご講話では、同窓会会則をご説明いただいた後、「中学校のときの友達との関係はずっと変わらない。今の仲間を大切にしてほしい」「自分の運気を上げるためのキーワード『ありがとう』『感謝します』を言い続けてほしい。この言葉を言い続けることで自分の道が拓けてくる」とお話いただきました。

その後、卒業生を代表し、同窓会幹事代表が「十日町中学校を支え、発展に協力をしていく所存です」と、同窓会の一員としての決意を堂々と述べました。

そして、最後に蕪木様より卒業生に記念品(卒業証書ホルダー)を授与していただきました。

3年生には十日町中学校の卒業生として誇りをもって、それぞれの進路を歩んで行ってほしいと思います。

## 活躍する十中生

### 【第58回妻有雪ん子造形展】

入賞 1年:男子4名、女子1名  
2年:女子4名  
3年:男子3名、女子6名

### 【妻有新聞社 新春文芸展】

書道 特選 3年女子生徒

### 【十日町新聞新年号習字】

習字 特選 3年女子生徒

### 【新潟県よい歯の学校・園運動】

郡市優良校 十日町中学校



1組「沈黙のモアイ 白の世界に立つ」



2組「スーパーリトルスノーメン」

